

陸送協会ニュース

第 **131** 号

2013 年 3 月

編集・発行者

社団法人日本陸送協会事務局

東京都新宿区新宿 1-11-15

電話 03-3356-3977 / 7922

平成24年度通常総会

佐々木新会長のもと新体制で1年目のスタート



去る2月26日（火）、品川プリンスに於いて平成24年度(社)日本陸送協会通常総会が開催されました。

岩下副会長の開会のことばに続き、水野会長の挨拶がありその後議案の審議に入りました。

今回は、任期満了に伴う役員の改選期にあたり、新会長には佐々木副会長が水野前会長には副会長として、又遠藤理事が副会長に選任されたほか、新役員の方々が選出されました。

開会の言葉 岩下副会長



開会のことは簡単にお話ししたいと思っています

先日私の友人と食事をしているときに、友人達は60代後半になりますがほとんどの人がリタイアしています。彼らが今我々に一番大事なことは何かという話をしました。

それは教養と教育です。60代を過ぎるとき古希を迎えようとしているときになんと教養と教育が必要だと、彼らは言っているわけです。

この会場にもその年頃の人が多いかと思うと思いますが、参考にして頂ければと思います。教養とは、まさしく知識を身に着けることです。教育とは誰かに知識を与えてその個人の能力を高めるといのが教育になる訳です。その意味について考えてみると、友人が言うにはあまり固く考えずに考えてみると言われ、教養とは今日用事があるという事。教育とは

なんだい言う同じように今日行くとこがあるという事だと言いました。

まさしくこれが我々にとつての宝なんだ、お前みたいに仕事ばかりしているとなかなかそういう気持ちになれないだろうという話がありました。

我々の協会を取り巻く環境はますます厳しくなるであろうと思います。3つぐらいアメリカで言う崖があると言わざるをえません。一つは車の需要が増々減っていく少子高齢化と確実に若者の車離れによる閉塞感を感じないと思います。これが第一の壁です。

第二の壁、これは私の私見ですがお客様はますます我が儘になって、我々に要求を突き付けてきます。早く運べ、値段を安くしろ、サービスを向上させろと必ず言ってきます、これにどう対応するかこれが二つ目の壁です。

第三の壁、このことは我々の死活問題になると思いますが、ドライバーの不足です。

今の若者が大型の牽引免許を取ろう筈がない。そうしますと我々の業界は自然消滅をせざるを得ない状況にある。こういった三つの崖に対して私は先ほど言いました、今日用事があるではなく、教養と今日行くところではなくきちっと教育をやることで、この苦しい崖を飛び越えていかなければなりません。是非この協会を上げて皆様と一緒に相談をしながらそれに立ち向かっていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

会長挨拶 水野会長



皆様改めましてこんにちは。今日は年度末にかけて大変お忙しい中、駆けつけて頂き誠にありがとうございます。

今、岩下副会長より大変含蓄のあるお話がありましたので、私はまず最初に御礼を申し上げたいと思います。

一点目は、皆様のご協力もあり「教育認定制度」が4支部に於いて執り行われまして、この2月には国土交通省より後援名義を頂くことが出来ました。これも皆様のご協力の賜物と思っております。本当にありがたく厚く御礼を申し上げます。

もう一点は、昨年9月に実態調査をさせて頂きましたところ、法人数で言いますと現在530社前後と思われませんが1500社を超える方々からご協力を頂き、アンケート調査を纏めることが出来ました。

現在、理事会でこの結果をどのような形で活かしていくか、又どう続けていくかという事を検討しているところで御座いまし

て、いずれ近いうちに会員の皆様にフィードバックしたいと思っております。これを持って渉外活動にあたりたいと思っている次第です。

先程、岩下副会長より三つの崖という話がありました。後程、全ト協の矢島常務理事様より、現在、全ト協が取り組んでいる内容等についてお話を頂けると思いますので、私の方から申し上げることはないのですが、一つだけ申し上げますと中型免許が入りまして大型の免許の取得者が激減しているという事は、皆様も統計でご覧になっているかと思いますが、どのぐらいの数値化というと中型免許が始まったのが平成19年かと思いますが、それまで大型免許の取得者が12、13万人いました。中型免許が始まってからは5、6万人といった状況が続いております、ある資料によりまして20代のドライバーが全くいない。平成30年には60歳以上の大型免許取得者が60歳以下のドライバー数を逆転するといった状況になっており、ドライバーさんの確保といったことが喫緊の課題かと思っております。

皆さんも新聞等でご覧になったかと思いますが、全ト協さんをはじめ我々の業界もそうですが、全国高等学校校長会においても中型免許に関する要望書出しております。

これは、就職する機会がそれだけでなくも少ないのに、よりこういった免許の問題でさらに就職先の門が狭められてしまふという事で、緩和をして頂くように要望書を出しているところであります。

ドライバー不足については今後大変な

ことになるのかと思っています。このような諸問題を解決するには協会本部ならびに会員皆様の積極的なご参加とご提言を頂いて一つになって当たらないと、解決できないと思っていますし、御座います。

今年は役員改選の時期にもあたります。議事進行がスムーズに行われますようお願い申し上げますが、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

議長選出



会長は、定款第24条の規定により議長を出席正会員の内から選出する旨を述べ、議場に諮った結果、満場異議なく本総会の議長を青木副会長にお願いしたい旨を提案、青木副会長も了承しました。

開会宣言及び議事録書名人の指名

(1) 議長から開会を宣言し、定款第25条の規定で定める総会の定足数について出席者は、正会員総数694会員中、本日の出席者95会員、委任状提出者436会員で計531会員となり、正会員総数の過半数を超え、本日の総会は成立する旨報告されました。

賛助会員2社の出席について報告。(株)浜名ワークス 小出営業統括、細谷車体工業(株)細谷社長、谷口営業課長の紹介がなされた。

(2) 議長は、定款28条第2項の規定により議事録署名人を針生忠二(東北自動車輸送(株)会長)、磯部芳治(ふそう陸送(株)社長)の両氏を指名し、承認されました。

議案審議

▼ 第一号議案

(1) 平成24年度事業報告

事務局より資料の平成24年度事業報告に基づき説明があり、「教育認定制度」の推進及び陸送事業実態調査の実施、公益法人制度改革に伴う「一般社団法人」への移行等の重点事業活動について報告がありました。

(2) 平成24年度決算報告

続いて、平成24年度決算報告について説明があり、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計画書及び財産目録についての報告がありました。

(3) 平成24年度会計監査報告

田村監事より1月31日に会計監査を実施した旨の報告があり、精査した結果、資金の運用、経費の使用などが適切に行われており本決算書が正確かつ適正であったことの報告がありました。

議長は、第1号議案の議決について議場に諮ったところ、平成24年度事業報告及び決算報告について、満場異議なく原案どおり承認、議決されました。

▼ 第二号議案

(1) 役員の一部改選及び任期満了に伴う改選

議長は、退任された理事の故楠田一郎氏、故松田一美氏の名前を読み上げ、その後任について先の理事会で承認された新任の理事、スズキ輸送梱包株式会社社長檜野義則氏が紹介されました。

また、本年度は任期満了に伴う役員の改選期にあたり、先の理事会で承認された理事、監事候補者名簿(案)に基づき理事23名、監事2名、計25名が紹介されました。

以上第2号議案の議決について議場に諮ったところ、満場異議なく承認、議決されました。

理事 佐々木良一、水野功、石田定雄、

岩下世志、青木信幸、鈴木正史、

遠藤健嗣、佐瀬陽次、中村正義、

針生忠二、永塚秀幸、手塚俊雄、

仁丹基介、伊勢谷正男、末永弘毅、

磯部芳治、黒岩慶太、内海純、

豊嶋昌司、須藤敏文、木村正一、

稲藏与志雄、檜野義則

監事 田村慎一、矢島昭男

(2) 会長、副会長、専務理事の選任

定款13条第2項の規定により会長、副会長、専務理事の選任は理事の互選になる為、10分間中座して協議を行いました。議長は、議事再開後、協議結果を次のとおり報告して了承されました。

会長 佐々木良一

(トヨタ輸送(株)社長)

副会長 水野 功

(千代田運輸(株)社長)

石田 定雄

(愛知車輛興業(株)会長)

岩下 世志

(株ゼロ社長)

青木 信幸

(株マルノウチ社長)

鈴木 正史

(株ホンダロジスティクス会長)

遠藤 健嗣

(マロックス(株)社長)

専務理事 佐瀬 陽次(事務局)

(3) 新役員代表挨拶

佐々木新会長より新役員を代表して挨拶を頂きました。

この度、皆様のご推挙により、伝統ある日本陸送協会第7代会長に就任させて頂きました佐々木でございます。

身に余る光栄とともに、その重大な使命と責任を痛感致しております。

水野前会長の方針を引き継ぎ、また皆様のお力添えを賜り、大任を果たすべく努力して参る所存ですので、ご支援ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。



水野前会長におかれましては、在任期間中、当協会の活動に対し多大な貢献をされました。改めまして敬意を表するとともに、今後は副会長として、引き続き協会運営に対しご支援ご協力頂きますようよろしくお願い申し上げます。

会長就任に当たり、我々陸送協会が取り組むべき課題として、3点申し上げたいと思います。

1点目は、まず何にもまして、「交通事故防止」「作業事故防止」「すなわち「安全」にさらに力を入れていくべきだ」という事だと思えます。

昨年、大変お忙しい中、会員の皆様のご協力の下、実施致しました「陸送事業概況調査」の結果の中でも、「会社を経営していく上での今後の課題は何か」という問いに対し、最も多かった回答が「事故／防災防止」でありました。我々陸送事業者にとって、「安全」は会社経営の基盤であり、何よりも優先され、会社発展の源泉であると共に、社

会への責務であることを十分認識して、その実現に向け追及していく必要があります。

当協会と致しましても、本年も国土交通省のご後援の下、「教育・認定制度」を推進し、これまでの自走並びに積載ドライバー教育に加え、本年より運行管理者教育も開始し、ドライバー・管理者双方のレベルアップを図り、「GMマーク」「ISO39001」との連携により、陸送業界全体の一層の安全レベル向上に努めていきたいと考えます。

2点目は、「コンプライアンス」への取り組みです。

当協会と致しましては、会員の皆様が事業を進める上で遵守すべき法令について、自己診断できる解説書などを作成するとともに、関係法令の改正情報等をいち早くつかみ、情報展開を図るなど、会員の皆様への支援を充実させていきたいと考えております。

3点目として、陸送事業の実態把握並びに関係先への理解活動の展開です。

昨年実施いたしました「陸送事業概況調査」において、ドライバーの労働構成や労働条件から見た将来の労働力不足など、様々な課題が明らかになってまいりました。

しかしながら、結果が十分に深掘りできていない項目もあることから、次回調査に向け調査内容を研究し、トラック協会や他産業との比較を進め、陸送業界特有の課題を把握し、課題解決に向け関係省庁等へ改善要請活動を行ってまいります。また、実態調査の結果は、

会員各社の事業活動の「強み」「弱み」を理解する上での指標として活用いただくことも大変意義があると考えます。

今後このような調査に対し、ご理解ご協力の程宜しくお願い致します。

会長就任にあたり、3つのテーマについてお話しさせて頂きましたが、将来にわたり陸送業界が継続的に発展し、協会設立当初からの二大基本方針である「経営の安定化」「陸送業界の地位向上」を実現していくためには、会員の皆様とのコミュニケーションを大切にしながら、これらの課題に対ししっかりと取り組むことが重要であると考えております。

会員の皆様におかれましては、今後とも日本陸送協会の活動に対し、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

▼第三号議案

(1)平成25年度事業計画(案)

事務局より、資料平成25年度事業計画(案)に基づき説明があり、厳しい環境下にあるが、自動車産業の一翼を担う陸送業界においては今後における陸送事業の健全な発展を推進して行かなければならないとして「教育認定制度」の推進と「陸送事業の実態調査」を中心とする事業計画の説明がありました。

(2)平成25年度収支予算(案)

事務局より、資料の収支予算(案)に基づき説明がありました。

議長は、第3号議案の議決について議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認、議決されました。

▼第四号議案

(1)法人移行

事務局より、資料に基づき

1. 一般社団法人への移行申請の決議について
2. 定款変更(案)の決議について
3. 定款に附属する諸規程の決議について
4. 一般社団法人移行時の役員とその任期の決議について

5. 公益目的支出計画の決議についてをそれぞれ説明を行いました。

議長は、第4号議案の決議について議場に諮ったところ、1から5について満場異議なく原案どおり承認、議決されました。

議長は、以上を持って、本会議の提出議案が原案どおり審議され、承認、議決されたことを確認し、議長の任を降りられました。

退任役員へ感謝状並びに記念品贈呈

佐々木会長より、退任役員へ感謝状及び記念品の贈呈が行われました。

・近畿支部

故 楠田 一郎 理事(株極東陸送)

代理 小林 祥人 様

・中部支部

故 松田 一美 副会長(スズキ輸送梱包)

代理 檜野 義則 様

講演

(公益社) 全日本トラック協会常務理事
矢島昭男氏より次の講演を頂きました。

1. トラック運送業界の現状
2. トラック産業の将来ビジョンについて
3. 25年度トラック関係税制について
4. 高速道路料金について
5. 燃料価格について

閉会の辞 鈴木副会長

本日は、大変長時間にわたりましてご参加を賜りまして誠にありがとうございました。

すべての議事次第を滞りなく進めることが出来ました、改めてお礼を申し上げます。

本日は第2号議案に御座いましたように、平成24年は新しい体制、佐々木新会長のもと新しい体制でスタートをしています。佐々木新会長の新しい視点であるとか

あるいは力強い推進力で、当協会をますます盛り上げて頂けるものと確信をしております。

我々も一致協力をして盛り上げて参りたいと思いますので、皆様よろしくお願い致します。

最後になりますが、水野前会長が2年間にわたりまして協会の会長として、様々な場面で現在の協会を率いて頂きましたので、ここで改めて拍手を持って感謝の

気持ちを表したいと思います。
以上をもちまして総会を閉会いたしたいと思えます。

懇親会の開催

ご来賓の直嶋正行参議院議員秘書、石渡様、古本伸一郎衆議院議員秘書、東様の紹介に続き国土交通省自動車局次長清谷伸吾様より祝辞を頂き、青木副会長の開催挨拶で懇親会が開催されました。

その後、国会対応で忙しい中、国土交通省自動車局長 武藤 浩様も来訪頂き祝辞を頂きました。

遠藤副会長より閉会の言葉を頂き、なごやかな雰囲気の中に懇親会を終了致しました。



国土交通省交通局長 武藤浩様



末永理事・藤崎様



国土交通省交通局長 清谷伸吾様



遠藤副会長



武藤様・水野副会長・針生理事

理 事 会 だ よ り

1 月定例理事会

1. 役員の一部改選について

水野会長より新役員（案）に基づいて説明があり、新会長にトヨタ輸送(株)佐々木良一氏、副会長に千代田運輸(株)水野 功氏、マロックス(株)遠藤健嗣氏、新理事にスズキ輸送梱包(株)檜野義則氏がそれぞれ紹介され承認された。

なお、その他の任期満了に伴う役員についても、異議なく承認された。

2. 平成24年度事業報告等について

- ①平成24年度事業報告及び平成24年度決算報告
- ②平成25年度事業計画（案）及び平成25年度収支予算（案）

以上について事務局より説明があり承認された。

3. 通常総会について

- ①平成24年度通常総会・臨時理事会
- ②平成24年度通常議事次第（案）及び資料
- ③平成24年度通常総会議事進行（案）

4. 法人移行について

- ①定款変更（案）
- ②公益目的支出計画等について説明があり、承認された。

5. 「陸送事業実態調査」について

実態調査の結果については、自走・積載委員会によって纏めて頂き、3月の正副会長会議に於いて精査することとなった。

6. 支部報告について

- ・九州支部

「教育認定制度」については、トヨタ輸送さんの協力を頂きながら、進めていきたいと考えている。

・中部支部

柔軟化プレートについて、中部運輸局にお願いにあがり、当初予算が無いとのことであったが、補正予算を取って希望枚数を頂けるようになった。柔軟化プレートについては、メーカー等においても好評である。

・関東支部

柔軟化プレートの拡大を図るべく北九州・追浜で使用する為、サンプル作りをしてみたが、いくつか問題点があり、その点の改良作業が続けている。

7. 入会会員の承認事項について

8. その他

- ・平成25年度行事予定について
- ・運行管理者教育テキスト（案）アンケート



曇り空の天候の中出席者約20名は、東京都港湾福利厚生センター中会議室に集合し、要領の説明を受けた後二班に分かれパトロールを実施した。

約1時間のパトロールの間、積載車3台、自走車両3〜4台が入場し、その間あらかじめ用意したチェックシートに基づき積載車両の積み下ろし状況、ドライバーの服装、自走ドライバーの回送標板の取り扱い、構内スピード等について厳しく確認をした。

安全意識の高揚を目指して 共同パトロールを開催

（社）日本陸送協会・11社会車両物流サービス会安全推進分科会、合同による共同パトロール（積載部門・自走部門）が開催された。

実施日時 平成25年2月15日（金）10時〜12時
実施場所 品川埠頭 栗林運輸(株)搬入エリア

北海道支部

平成24年度定時総会・優良従業員表彰並びに優良運転者表彰式開催

開催日 平成25年2月6日(水)
会場 札幌サンプラザ

本部より水野会長、岩下副会長、佐々木副会長、佐瀬専務理事が出席され総会が開催された。

中村支部長の挨拶に続いて議題に入り、「教育認定制度」「トレーナー教習」の開催など24年度事業報告、決算報告、監査報告が行われた。また、25年度事業計画では、4つの重点項目のほか、自走乗務員について「トレーナー教習」と管内4ヶ所でのドライバークラウド講習の開催、収支予算(案)が提出され満場一致で承認された。

その後、水野会長より陸送協会の「2大方針」の進捗状況や本部運営の概要についての挨拶を頂き、佐瀬専務からは事業概況調査の経緯と作成時期についての説明があった。

優良従業員表彰・優良運転者表彰

中村支部長の式辞に続いて本部長表彰者8名と北海道支部長表彰者17名合計25名の表彰状と記念品が授与された。

水野会長の挨拶に続き、北海道運輸局

自動車技術安全部長、竹下了志様と北海道警察本部交通部管理官、守谷明浩様より祝辞を頂いた。

受賞者を代表して本部表彰のノーストランス(株)加藤哲也様から謝辞あり、記念写真撮影のあと懇親会が行われた。



関東支部

川崎分会臨時総会

開催日 平成25年3月6日(水)
会場 平間会館
時間 16時30分

磯部分会長の挨拶に続き、議案審議に入り川崎分会会則等について分会長より説明があり、出席者満場一致で承認された。

その後、関東運輸局神奈川運輸支局川崎自動車検査登録事務所の運輸企画専門官紅林忍様より、回送運行許可を受けた者に対する行政処分等基準について講習を頂いた。



春の交通安全週間

統一標語

「守ります 家族の笑顔と 交通マナー」

ポスターと標語

平成24年度交通安全標語第1位

「日渉運輸株式会社の松本秀樹さん」の標語です

運動期間

全 国／平成25年4月6日(土)～15日(月)までの10日間
交通事故ゼロを目指す日／4月10日(水)陸送協会／平成25年4月1日(月)～30日(火)までの1ヶ月間
(春の交通安全強化月間)

運動重点

実施にあたっては、国土交通省実施計画で定める「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本とするほか、「自転車の安全利用の推進（特に、自転車安全利用五則の周知徹底）」「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」及び「飲酒運転の根絶」の全国重点に留意するとともに、当協会作成の「平成25年の交通安全強化月間実施要領」に取り組むことをお願いいたします。



入退会情報

入 会

平成24年12月 金沢産業株式会社 白山営業所
平成25年 1 月 有限会社ファナテック
平成25年 1 月 ホンダ運送株式会社 浜松営業所
平成25年 2 月 株式会社マルノウチ 東北営業所
平成25年 3 月 有限会社東伸

事務局日誌

経過報告

1 / 24 1月定例理事会
2 / 6 北海道支部総会
2 / 26 臨時理事会
2 / 26 平成24年度通常総会
3 / 6 四国支部総会
3 / 8 九州支部総会

今後の予定

3 / 21 正副会長会議
4 / 23 自動車総連との産業労使会議
4 / 15 東北支部「教育認定制度」
トレーナー教育
4 / 25 関東支部総会
5 / 16 近畿支部総会
5 / 24 中部支部総会

事務局からのご案内

◎平成25年度の「高さ指定道路」の要望について

本年度も陸送協会会員からの申請の受付を行います。詳細につきましては4月に各支部事務局にご案内をお送りいたします。

近年車両の大型化に伴い、3.8m・4.1mの規制を超えていると思われる積載車量が見受けられます。高さ指定等については、遵守して頂くようお願い致します。

